



# TSUNAGU

- 小から中への滑らかな接続にむけて -

令和7年12月4日

我孫子市小中一貫教育だより  
第395号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」

## 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## 小中一貫オリジナルカリキュラム授業実践の様子を紹介するうな～！

### つながる 広がる 支え合う ～並小・1年生「昔あそびをしよう」

並木小1年生が、並木小ふれあいサロンの方をお迎えし、生活科の昔遊びの学習を行いました。ふれあいサロンから22名、北地区社会福祉協議会から23名と総勢45名の昔遊びの先生です。並木小から1年生45名、つくしの幼稚園26名の71名が様々な昔あそびを教わりました。

開始と同時に、子どもたちはみんな遊びに夢中です。ひもを巻いては投げてを繰り返してコマを回したり、メンコを何度も投げたりする様子がありました。先生から遊び方だけでなくコツを教わるとさらに熱中して楽しそうに遊んでいました。

あやとり・折り紙・お手玉・おはじき・割りばしでつぼう・けん玉・紙飛行機・めんこ・こま・まり。どれも普段はあまりなじみのない遊びですが、子どもたちの目はキラキラと輝いていました。子どもたちにとっては、新鮮な昔あそびの時間です。どの遊びにも必ず先生がついており「上手になったね!」「すごいね!」とたくさん声をかけてもらい、和やかな雰囲気の中、笑顔で会話する様子があちらこちらで見られました。

地域の方のおかげで、限られた時間に多くの遊びを体験することができました。地域と小学校と幼稚園の3つの異なる団体が一つになり、久寺家中学区のオリジナルカリキュラム「つながる 広がる 支え合う」のテーマに沿った学習の時間でした。



### 一小・5年生「我孫子の魅力を伝え合おう」～新木小児童とのリモート交流会～

我孫子第一小学校の5年生で、白山中学校区オリジナルカリキュラム「キャリアでつなぐ白山中学校区カリキュラム」の一環として、総合的な学習の時間「我孫子の魅力を伝え合おう!」の学習が行われました。我孫子第一小学校と新木小学校の5年生のオンライン交流会です。我孫子第一小学校の5年生が我孫子市の魅力について調べ、プレゼンテーションソフトにまとめ、新木小学校の5年生に発表する時間です。

最初に、実行委員の挨拶で交流会が始まりました。これからの発表にときどきする我孫子第一小学校の児童と、発表を聞くのが楽しみでわくわくする新木小学校の児童がモニター越しに顔を合わせます。

発表は手賀沼に住む鳥や魚、我孫子市のグルメ、施設、イベント、歴史伝統や偉人など、多岐にわたりました。それぞれがスライドを使いながら魅力を紹介していきます。レストランの紹介の場面では、「私のおすすめはティラミスです。」とおすすめのメニューを紹介して興味を惹かせました。また、手賀沼に生息する鳥を紹介する場面では「カワセミの別名は何でしょう。」とクイズを入れ、「①だと思ふ人」と投げかけると、画面に映る新木小学校の5年生が大きく手を振って反応しました。



新木小学校の5年生からは「画像がたくさんあって、クイズもあって面白かったです。」「おいしそうなお店を紹介してくれて良かったと思いました。」と感想をもらいました。また、「鳥の博物館に卵はありますか。」や「どのお祭りが1番有名ですか。」など、発表に対して質問があり、それに対して一生懸命回答していました。次回は新木小学校が発表してくれます。次のオンライン交流会を楽しみに、笑顔で大きく手を振り合って会は終了しました。